

この度は埼玉親善大使に任命いただき誠にありがとうございました。

・埼玉県をPRした事例について

私が留学中に驚いたことの一つが、日本文化がイギリスでとても人気だということでした。日本料理店はロンドンのどの地域にもありますし、大学院で同じコースに通う複数の同級生からも日本食が大好き、という話を聞きました。

コース内で、クリスマスにポットラックパーティと呼ばれる持ち寄りパーティを行った際に、私は日本から持参した狭山茶らんぐどしやを配りました。また、何度かコースメイトを呼んで、家でホームパーティを開き、手巻き寿司と共に狭山茶を振る舞いました。その際には埼玉県の場所や名産を、リーフレットを用いて紹介し、皆から興味を持って聞いてもらえました。ホームパーティに参加してくれた、コースメイトの一人は、実際に日本旅行を計画し、お勧めした、川越にも立ち寄ってくれたようで大変嬉しかったです。

今後も日本文化や埼玉の魅力を広げることが出来るよう、取り組んで参りたいです。

・現地での生活について



曇天のビッグベン

王立裁判所

私は英国の首都であるロンドンで生活をしておりました。今回の留学は自身にとって初めての長期での海外生活であり、初めてマイノリティという立場になる経験でした。しかし、ロンドンは移民も多く、多文化な都市であるため、自身が外国人であることを強く感じることは多くはありませんでした。何かに困っていると声をかけてくれる人も多かったです。

生活面で日本との違いを大きく感じたのはストライキの多さです。昨今ロンドンでは生活費の高騰が深刻な社会問題となっています。その結果多様な業種の労働組合がストライキを実施していました。特に影響が大きかったのは、交通機関のストライキです。ロンドン市内のすべて

の地下鉄が一日ストップしてしまう日を数回体験しました。他にも、空港職員、長距離電車、医者、看護師、教職員など、様々な業種の労働者によるストライキを目の当たりにしました。日本では信じられないような状況に当初は驚きましたが、ロンドンで暮らす人々はリモートワークの活用などを通じて対処していました。

ロンドンの魅力の一つは歴史的な建物が多く現存しているところだと思います。地震が少ないことから、築100年超の住居なども多く、散歩をしているだけで楽しめる街並みでした。大英博物館をはじめとした美術館、博物館は入場無料の場所が多く、何度も足を運びました。美術館や博物館に行くと必ず社会科見学のような小学生くらいの学生団体が思い思いの場所でスケッチをしたり、絵画鑑賞をしたりしている光景を目にし、豊かな芸術を身近に感じている様子が見受けられました。

また、曇りが多い、とよく言われるロンドンですが、一日の中で天気が大きく変わるので、朝曇っていても昼ごろから晴れ始めることも多くありました。少しでも晴れ間を見つけると、太陽を浴びるために外に出かける人々をよく見かけました。ロンドンにはリージェンツパークやハイドパークといった美しく広い公園が沢山あります。天気の良い日には日光浴をする人で溢れており、自然を愛する人が多い印象を受けました。

一年間の大学院生活を通じて、自身の専門領域での知識を深めるだけでなく、ロンドンという多文化都市で視野を大きく広げることができました。今後も多文化共生を推進するため、微力ながら取り組んで参りたいと思います。一年間温かいご支援を頂き、誠にありがとうございました。